

日本経済新聞（長野版）掲載のお知らせ

平成 24 年 11 月 6 日付日本経済新聞（長野版）に、アイゼットの省エネ照明器具に関するの記事が掲載されましたのでご案内致します。

挑戦する企業



アイゼットが開発したLED照明（写真上）。蛍光灯型は大手との取引を拡大している（導入したダイエー店舗、同下）

▽本社所在地 長野県南箕輪村 6-201の1
▽代表者名 林邦男社長
▽従業員数 約40人
▽売上高 30億円（2012年3月期）

板を採用し、1本で2本の明るさを実現するため、同じ面積であれば価格は安価に設定できる。蛍光灯を使うライトの需要を奪いそうだが、林社長は「明確に使い分けられる」と語る。省エネに取り組み姿勢を外部にアピールする意味もある店舗などはLED型、倉庫やバックヤードは蛍光灯型と使い分けを提案し、一括受注を狙う。

理由のひとつ、設置状況などから導入先につがLED照合った光の広がり方を提案し、反射板の加工を要する。明に比べた価格の安さだ。大手では何万個にもなる廃棄のシャープやパナソニックなど、自治体などが設ける補助金を活用する資料の作成を古くから照助手掛ける支援など、ソフト面の顧客提案も評価を得ているとい

加工した反射板を使い、光が無駄なく広範囲に広がるようにしている。多くの店舗で採用したダイエーを皮切りに大手ハンバーガーチェーンや玩具小売り大手でも採用された。大手企業が交換型のLEDに比べ3分の1程度で済む。中小企業ならではのきめ細かさや小回りの良さも生かした格好だ。（岩戸寿）

東日本大震災以後、一気に市場が拡大した発光ダイオード（LED）照明。価格競争を繰り広げる大手各社を横目に、長野県の専門照明器具メーカー、アイゼット（南箕輪村、林邦男社長）が一風変わった切り口で受注を伸ばす。販売するのは蛍光灯と反射板を組み合わせた安価な省エネ照明器具だ。導入場所に合わせた提案など小回りの良さも評価され、小売り大手などの取引で売り上げを伸ばしている。

大手スーパー、ダイエーのマリナタウン店（福岡市）。店内で照明を見上げると、従来2本だった蛍光灯は1本に減っている。照

アイゼット

省エネ蛍光灯好調 反射板工夫 大手に対抗




明の明るさは購買意欲に影響するが、以前と変わらな消費電力はほぼ半分に。消費電力はほぼ半分に。消費電力はほぼ半分に。消費電力はほぼ半分に。

加工した反射板を使い、光が無駄なく広範囲に広がるようにしている。多くの店舗で採用したダイエーを皮切りに大手ハンバーガーチェーンや玩具小売り大手でも採用された。大手企業が交換型のLEDに比べ3分の1程度で済む。中小企業ならではのきめ細かさや小回りの良さも生かした格好だ。（岩戸寿）

長野 野

長野支局 0266-2322-2111
松本支局 0266-31361-3007

本社（長野） 〒399-4511 長野県上伊那郡南箕輪村 6201-1
TEL/0265-71-8822 FAX/0265-71-8800

東京営業所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋 2-1-6 東日本橋藤和ビル 2F
TEL/03-5833-8801 FAX/03-5833-8805

福岡営業所 〒812-0004 福岡県福岡市博多区榎田 1-8-31 榎木ビジネススクエア
TEL/092-433-8180 FAX/092-433-8182